

アイバンク啓発活動2025

角膜移植は「命をつなぐ光のリレー」とも呼ばれ、提供者の尊い思いが視覚障がいを持つ方に希望をもたらします。全国では年間約1,000件の角膜移植が行われていますが、角膜疾患などで視覚に障がいを抱える方は約19,000人より多くの方にこの現状を知っていただき、一歩でも光に近づく未来をともに描きたい。その想いでこれまでも、これからもアイバンク啓発活動を継続してまいります。

角膜移植ってなに？

角膜移植の現状

角膜疾患による視覚障がい者は約1万9千人
角膜移植を心待ちにしている人は全国に現在約2千人いると言われています。

今、私たちにできること

角膜は、200年もの寿命を持っています。角膜が透明であれば、近視・乱視・老眼・年齢に関係なく検眼は可能です。
今、私たちができることは、アイバンクや角膜移植について正しく知ること・考えること、そして行動することです。

アイバンク・角膜移植は、**命をつなぐ光のリレー**
見える幸せを一人でも多くの方に！

【川畠成道チャリティコンサート】



視覚障がい者支援への理解を深めるとともに、収益をアイバンクへ寄付し、角膜移植の普及と支援に貢献することを目的として世界的に活躍する視覚障がいを持つヴァイオリニスト 川畠成道氏のチャリティーコンサートを開催
出演のお二方の素晴らしい演奏で、視覚の枠を超えた「音の力」「人と人とのつながり」を感じるひとときをお届けし、ご来場・ご参加いただいた皆様に、アイバンクの普及にご協力いただきました

《実施概要》

開催日：2025年10月4日（土）5日（日）
会場：WAKASA&CO.京都四条店2階 わかさの舞台
出演：川畠成道（ヴァイオリン）、宮本聖子（ピアノ）
曲目：クライスラー作曲「愛の悲しみ」「愛の喜び」ほか「アヴェ・マリア」「チャールダーシュ」など心に響く名曲を演奏

参加者合計：204名
L来場者数：182名
Lオンライン視聴者数：22名

コンサート詳細ページ
https://www.wakasa.jp/np/charity_concert/

主催：わかさ生活 後援：京都市



このコンサートの収益金として30万円をアイバンクへ寄付させていただきました

【愛の光感謝の集い・ドナーファミリーの集い】

京都を拠点とするアイバンク愛の光基金管理会の開催する『アイバンク感謝の集い』や東京・千葉を拠点にするアイバンクのドナーのご家族との『ドナーファミリーの集い』への参加・ご協力をさせていただきました命のつなぐ光のリレーへご協力いただいた方々への感謝の意をお伝えさせていただきます。

